

第9回東海臨床倫理研究会

テーマ 遷延性意識障害患者の気管切開に対する倫理的視点

2021年

6月22日(火) 18:15~19:45

受付開始 17:45

場所：名古屋市立大学大学院看護学研究科 308講義室

地下鉄桜通線「桜山駅」3番出口徒歩1分

※ 会場参加のほかに、Zoomによる参加も可能です。

いずれの場合も下記に示す方法で、事前の参加申込をお願いします。

Zoomによる参加をご希望された方には、別途メールにてご案内致します。

アドバイザー：稲葉一人先生（中京大学法務総合教育研究機構・教授）

今回は、意識障害が遷延し、人工呼吸器を離脱できない患者の気管切開の事例を検討します。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今回はZoomによるオンライン上でもワークショップを開催することになりました。参加者同士の議論を通じて、様々な視点や考え方を習得したい方のご参加をお待ちしています。

参加要領

- ・倫理に関心のある方なら職種を問わず、どなたでも参加できます。
- ・参加は無料です。
- ・会場参加、オンライン参加、併せて定員50名（先着順）です。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として名古屋市が主催する催物に係るガイドラインに準じて開催します。感染拡大等による中止の場合は、申込者にメールでご案内致します。
- ・お申し込み締め切りは、2021年6月16日（水）です。
- ・お申し込みは下記アドレスまたはQRコードからお願いします。



<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a46f9a71407793>

ご記入いただいた個人情報は、①本研究会の実施・運営、②本研究会主催のイベント等のご案内、③アンケートの実施等による調査・研究の範囲で使用させていただきます。

問い合わせ先

名古屋市立大学大学院看護学研究科 明石恵子 akashi@med.nagoya-cu.ac.jp

協力：東海精神看護CNS事例検討会／名古屋市立大学看護学研究科CNS勉強会